

令和元年度 岡山県医療的ケア児等支援者養成研修 日程表

日数	時間 (分)	項目	内容	獲得目標	講師
1日目 (11/25)	8:30~ 9:00	(受 付)			
	9:00~ 9:15	15 概要説明	研修の概要 (目的、期待する成果等) を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15~ 10:15	60 総論	コーディネーターのあり方、役割等 アドボカシー、エンパワメントの視点 多職種との連携、ネットワーク作り、資源の開発等 ケアマネージメントの手法 子育て支援としての相談支援	医療的ケア児等コーディネーターとして、どうあるべきか、視点、地域連携、資源の開発の方法などを理解する。	社会福祉法人 旭川荘 理事長 末光 茂 氏
	10:15~ 10:25	(休 憩)			
	10:25~ 11:55	90 医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要な具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ。 それが当事者や家族にどのようなメリット・デメリットがあるか知る。	旭川荘療育・医療センター 医師 花田 華名子 氏
	11:55~ 12:40	(昼 休 憩)			
	12:40~ 14:10	90 重症心身障害医学総論、 地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等	重症心身障害の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的な支援をイメージする、地域の医療的な現状を把握する。	旭川荘療育・医療センター 医師 片山 雅博 氏
	14:10~ 14:15	(休 憩)			
	14:15~ 15:15	60 ライフステージにおける支援 の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点を理解し、適切な計画作成ができる。	旭川荘療育・医療センター 看護顧問 義村 禮子 氏
	15:15~ 16:15	60 福祉制度・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。	計画相談に必要な福祉制度・資源 (地域特有の制度、資源の状況) を把握し、活用ができる	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子 氏
16:15~ 17:15	60 医療・福祉・教育の連携 (チーム作り)	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携をどう構築していくか。	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携はどうなっているのか、また今後どのように連携を構築 (チーム作り) をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子 氏	
2日目 (11/26)	8:30~ 9:00	(受 付)			
	9:00~ 12:00	180 在宅支援関連施設の理解	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護 介護事業所 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援 旭川荘施設見学	重症心身障害児(者)の在宅支援に関わっている事業所や施設の実態を把握し、連携できる。 施設の状況を把握し、計画作成にいかす。	つばさクリニック 理事長 中村 幸伸 氏 訪問看護ステーション 所長 國近 桂子 氏 短期入所 サンサポートつやま 看護師 金木 こと江 氏 旭川児童院通園センター 副所長 羽原 史恭 氏 真庭地域センターさくら 支援主幹 福田 玲子 氏 見学 旭川荘 資料館
	12:00~ 13:00	(昼 休 憩)			
	13:00~ 14:00	60 本人・家族の思い、ニーズ、 QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	岡山県重症児を守る会 家族 宮木 悦子 氏
	14:00~ 15:00	60 重症心身障害児(者)の 意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思にできるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 支援顧問 石井 貞江 氏
	15:00~ 15:10	(休 憩)	旭川荘敬老園 1階 地域交流ホールへ移動		
15:10~ 17:10	120 【医療的ケア児等支援者 養成研修】	小児在宅医療における多職種連携	小児等在宅医療における連携・協働の必要性を理解できる。	訪問看護ステーション 管理者 平田 晶奈 氏	
合 計	855				

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。